

## 0590 | 造形基礎 IV

2 単位（通信授業 2 単位）

牧野良三教授、富谷智講師、竹中義明講師、生川清孝講師

## 授業の概要と目標

我々が暮らす環境は、様々なモノとモノとが互いに関係しあいながら、水平、垂直的な広がりを持って機能し我々の関係を支えている。これを造形的な視点で言い換えれば、様々な立体が空間とよばれる広がりの中で構成され、多様な世界を作り上げている。とすることが出来る。また、立体を認識し、空間を実感するには、光の存在を抜きに語ることは出来ない。

造形基礎IVでは、自ら作り出した立体を空間に構成し、光を照射することで生まれる空間の様々な表情を、各々の段階で観察し、記録する。立体と空間、光と影、そこから生まれる豊かな空間の表情を探ることは、各々の関係を考察することである。

空間に対する認識を深め、美しい空間の表情を発見しその可能性を追求することがこの科目の目的である。

## 課題の概要

## ○通信授業課題

## 1-1 紙の造形

切り出された紙片からパーツを作り、立体的に組み合わせ配置することで立体や空間の可能性を探る。

## 1-2 空間を描く

立体構成によって生まれる光と影の美しい空間を発見し、平面に定着させる。

## 授業計画

## [通信授業]

教科書『造形基礎』の「造形基礎IV 立体から空間へ」を参照。

学習指導書『造形基礎I～IV 平成29年度』の「造形基礎IV」を参照。

## 成績評価の方法

各課題の総合評価とする。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1年次

[履修条件] なし

[備 考] 必修科目（3年次編入学生を除く）。

1年次に履修すること（2年次編入学生は2年次）。3年次編入学生は必修ではない。

## 教材等

教科書：『造形基礎』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

学習指導書：学習指導書『造形基礎I～IV 平成29年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）